



2014 年 7 月 23 日

* 2014 年 7 月 18 日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および関連資料等は、
GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」(*英語のみ)をご覧ください。

GE、2014 年度第 2 四半期の業績を発表

2014 年度第 2 四半期の 1 株当たり営業利益 (Operating EPS) は 8% 増の 0.39 ドル
産業部門の内部売上成長率は 5% 増
セグメント利益は 9% 増
営業利益率は 20 ベーシスポイント増
受注残高は前年同期比 230 億ドル増の 2,460 億ドル
リテール・ファイナンス事業の IPO は 7 月末予定
2014 年度の業績予測は変更なし

2014 年度第 2 四半期の決算ハイライト

- 1 株当たり営業利益 (Operating EPS) は 8% 増の 0.39 ドル
- 産業分野事業の売上は 7% 増
- 成長市場の受注高は 14% 増、売上は 6% 増
- サービス受注高は 14% 増、売上は 5% 増
- 2014 年度前半の利益率は前年比 30 ベーシスポイント増
- 2014 年度累計キャッシュフローは 34 億ドル (GECC の配当金 14 億ドルを含む)
- GE キャピタルの現金および現金同等物を除く最終正味投資額 (ENI) は、前年比 5% 減の 3,710 億ドル

2014 年 7 月 18 日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GE は本日、2014 年度第 2 四半期の業績を発表しました。当四半期の営業利益は 39 億ドル、1 株当たり営業利益は前年同期比 8% 増の 0.39 ドルでした。一般会計基準 (GAAP) ベースの継続事業からの利益は 36 億ドル、1 株当たり利益は 13% 増の 0.35 ドルとなりました。当四半期の売上高は前年同期比 3% 増の 362 億ドルでした。

GE のジェフ・イメルト会長兼 CEO は次のように述べています。「GE は当四半期および 2014 年度前半、好業績を達成しました。産業分野事業セグメントの利益は 2 桁増、利益率も 30 ベーシスポイント増となり、60 億ドル近くを株主に還元できました。引き続き全体的に良好な環境です。」

産業分野事業の利益は 9% 増の 42 億ドルでした。産業分野事業の利益率は前年比で 20 ベーシスポイント増加しました。産業分野事業の売上高は 7% 増加し、内部売上成長率は 5% でした。当四半期に成長市場の売上は 6% 増加し、9 つの成長地域のうち 6 地域で売上増を達成し、成長市場全体での受注高は 14% 増となりました。サービスの売上は 5% 増加し、サービス受注高は 14% 増でした。

当四半期末における設備・機器およびサービスの受注残高は前年同期比 230 億ドル増の 2,460 億ドルで、全部門で増加しました。当四半期中の Tier 4 排出ガス規制対応機関車、9 基の HA ガスタービン、石油・ガス業界初の圧力値 20k-psi 深海掘削システムの受注に技術面の投資が反映されていました。今週、GE と CFM (GE とスネクマ社による折半出資合弁会社) は、ファンボロー・エアショーにおいて、エミレーツ航空向けの 130 億ドル、イージージェット向けの 33 億ドル、アメリカン・エアライン向けの 26 億ドルを含む、360 億ドル以上 (リストプライス) を獲得したことも発表しました。

当四半期中、GEがアルストム・パワー&グリッド・ビジネスに提出した提案書がアルストムの取締役会とフランス政府の承認を得ました。作業委員会による協議に進み、アルストムの株主の承認および慣例的な規制承認を受けることになっています。この契約は2015年に締結する予定で、GEはアルストムの契約が2015年度の利益増に寄与し、2016年には1株当たり0.06~0.09ドル増につながると予想しています。これにより、2016年までに利益の75%を産業分野事業で達成することを目指しているGEのポートフォリオ戦略が加速します。

GE キャピタルは引き続き、コア事業以外の規模縮小を進めています。当四半期終了時の現金および現金同等物を除くGE キャピタルの最終正味投資額(ENI)は、前四半期から24億ドル減、前年同期比5%減の3,710億ドルでした。GE キャピタル・コーポレーション(GECC)のバーゼル1規制に基づくTier 1 予想普通資本比率は前年同期比51ペーシスポイント増の11.7%で、正味金利マージン(純資金利ざや)は5%と堅調でした。GECCは当四半期、親会社であるGEに対して14億ドルの配当を支払いました。主として北欧でのコンシューマ銀行における計画的な償却がもたらした税制上の効果により、2014年度の課税率が予想より低かったため、GECCは当四半期中に税制優遇による利益を計上しました。

本日GEは北米でのリテール・ファイナンス事業(Synchrony Financial(シンクロニー・ファイナンシャル))のIPOを7月末に予定していることも発表しました。これはこの事業からの計画的および段階的な撤退のための最初のステップです。

GEは事業の簡素化という目標を順調に達成しています。GEは今年度中にコスト削減目標10億ドル以上を達成することを目指しています。2014年度前半の累積コスト削減額は3億8,200万ドルです。

営業活動による累積キャッシュフロー(CFOA)は34億ドルでした。現金および現金同等物の当四半期末残高は870億ドルでした。GEは2014年度前半に59億ドルを株主に還元しました。このうち44億ドルが配当で、15億ドルが株式買戻しでした。

イメルトは最後に次のように述べています。「2014年度の業績予想に変更はありません。投資家の皆様に喜んでいただけるような業績を達成する所存です。R&D分野への投資は産業部門の成長をもたらしており、全部門のシェアの拡大は今週のファンボロー・エアショーにも裏付けられています。GE キャピタルはコア事業に注力しつつ、親会社への返済を行っています。バランスのとれた資本割り当てによって、株主への配当が実現しています。リテール・ファイナンス事業のスプリットオフ(分社化)によって、GEの将来的な基盤を固めることができます。」

2014年第2四半期の決算ハイライト

2014年第2四半期の営業利益は、前年同期比7%増の39億ドル、1株当たり営業利益は前年同期比8%増の0.39ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの継続事業からの利益は前年同期比10%増の36億ドル、1株当たり利益(EPS)は13%増の0.35ドルでした。

非継続事業の実績を含めると、2014年第2四半期のGEに帰属する純利益は35億ドル、1株当たり利益は0.35ドルでした。前年同期の実績は31億ドル(1株当たり0.30ドル)でした。

当四半期の売上高は3%増の362億ドルでした。産業分野事業での売上高は前年同期比7%増の262億ドルでした。GECCの売上高は前年同期比6%減の102億ドルでした。

GEの営業活動による2014年度累計キャッシュフロー合計は34億ドルでした。産業分野の営業活動によるキャッシュフローは20億ドルでした。

GEは本日8:30 a.m. ETにウェブキャストで第2四半期の業績予測を発表します。この内容はwww.ge.com/investorでもご確認いただけます。関連するチャートがGEのウェブサイトに掲載されていますので、ウェブキャストの前にご覧ください。

* * *

GEについて

GEは、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本においてGEは、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エジソンを創始者とするGEは、イノベーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それがGEです。日本におけるGEの活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

GEの投資家向けウェブサイト www.ge.com/investor、コーポレート・ブログ www.gereports.com、当社のFacebookページおよびTwitterアカウント(@GE_Reportsを含む)にはGEに関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧くださいことを推奨いたします。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」、「予想する」、「つもりである」、「計画する」、「信じる」、「探し求める」、「見込む」、「～であろう」、「～だろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GEの実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む現在の経済・金融状況、欧米における欧州公的債務問題およびそれに係る将来的な市場混乱、当社が計画するGEキャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECCの資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行(デフォルト)になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得るWMCのモーゲージローン証券化に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する、もしくは自社株買いを計画どおりに実行する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、GECCが計画通りにGEへ配当を支払う能力(GECCのキャッシュフローや利益の影響を受ける)、金融サービスに関する規制や監督、その他の要因、内定受注(コミットメント)/落札の成約率、定価での内定受注/落札後の実際の受注価格、当社の客先である主要産業(航空会社、鉄道、発電、石油・ガスの生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業)からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響(金融関連法令の影響を含む)、自社株買いや買収・合併事業・売却などの戦略的行為の時期や規模などに変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある、当社の資本配分計画、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、市場環境の悪化、必要な銀行規制承認を取得するタイミングや能力、Synchrony IPOの完了とスプリットオフを予定通り行うことができないその他GEやSynchrony Financialに関連する要因、アルストムとの取引や提携を完了し、予想している利益とコスト削減効果を実現する能力、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来におけるGEの実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GEは「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

この文書には「将来予想に関する財務情報」、すなわち現在と将来の予測に基づく情報が含まれています。実際の業績はこれとは実質的に異なる可能性があります。

＜本件に関するメディアの方からのお問合せ先＞
日本GE株式会社PR事務局 (共同PR内) 担当：長瀬・村上
TEL：03-3571-5175 FAX：03-3571-5382 Email:ge-japan.pr@kyodo-pr.co.jp

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書
(未監査)

6 月 30 日までの 3 ヶ月間	連結			GE(a)			金融サービス (GECC)		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%	2014	2013	V%
売上その他の利益									
商品およびサービス売上	\$ 26,098	\$ 24,502	7%	\$ 26,226	\$ 24,623	7%	\$ 34	\$ 31	10%
その他の売上	338	104		292	2		-	-	
GECC の継続事業による売上	-	-		1,864	1,924		-	-	
GECC のサービス売上	9,797	10,453		-	-		10,213	10,885	
総売上その他の利益	36,233	35,059	3%	28,382	26,549	7%	10,247	10,916	(6)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費 および一般管理費	28,483	27,029		23,997	22,520		4,852	4,836	
支払い利息およびその他の財務費用	2,345	2,600		400	326		2,071	2,388	
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	658	687		-	-		698	728	
貸倒引当金	968	1,010		-	-		968	1,010	
売上原価および費用合計	32,454	31,326	4%	24,397	22,846	7%	8,589	8,962	(4)%
継続事業による利益	3,779	3,733	1%	3,985	3,703	8%	1,658	1,954	(15)%
法人税等引当額(引当金)	(193)	(310)		(409)	(297)		216	(13)	
継続事業による利益	3,586	3,423	5%	3,576	3,406	5%	1,874	1,941	(3)%
非継続事業による税引利益(損失)	(41)	(124)		(41)	(124)		(36)	(123)	
純利益	3,545	3,299	7%	3,535	3,282	8%	1,838	1,818	1%
非支配持分の純利益(損失)を除く	-	166		(10)	149		10	17	
GE に帰属する純利益	3,545	3,133	13%	3,545	3,133	13%	1,828	1,801	1%
優先株主配当	-	-		-	-		(161)	(135)	
GE 普通株主に帰属する純利益	\$ 3,545	\$ 3,133	13%	\$ 3,545	\$ 3,133	13%	\$ 1,667	\$ 1,666	- %
GE 普通株主に帰属する利益： 継続事業による利益	\$ 3,586	\$ 3,423	5%	\$ 3,576	\$ 3,406	5%	\$ 1,874	\$ 1,941	(3)%
非支配持分の純利益(損失)を除く	-	166		(10)	149		10	17	
継続事業による利益のうち									
GE に帰属する利益	3,586	3,257	10%	3,586	3,257	10%	1,864	1,924	(3)%
GECC 優先株主配当	-	-		-	-		(161)	(135)	
継続事業による利益のうち									
GE 普通株主に帰属する利益	3,586	3,257	10%	3,586	3,257	10%	1,703	1,789	(5)%
非継続事業による税引利益(損失)	(41)	(124)		(41)	(124)		(36)	(123)	
GE 普通株主に帰属する純利益	\$ 3,545	\$ 3,133	13%	\$ 3,545	\$ 3,133	13%	\$ 1,667	\$ 1,666	- %
継続事業による 1 株当たり利益									
希釈化後	\$ 0.35	\$ 0.31	13%						
希釈化前	\$ 0.36	\$ 0.32	13%						
1 株当たり純利益									
希釈化後	\$ 0.35	\$ 0.30	17%						
希釈化前	\$ 0.35	\$ 0.30	17%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,110	10,328	(2)%						
希釈化前	10,031	10,263	(2)%						
1 株当たり配当額	\$ 0.22	\$ 0.19	16%						
GE 普通株主に帰属する利益： 継続事業による利益	\$ 3,586	\$ 3,257	10%						
調整(税引後)：									
営業外の年金コスト/(収入)	344	430							
営業利益(非 GAAP 財務指標)	\$ 3,930	\$ 3,687	7%						

希釈化後 1 株当たり営業利益	\$	0.39	\$	0.36	8%
-----------------	----	------	----	------	----

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1 株当たりの単位はドル。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2013 に掲載されている 2013 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー

損益計算書

(未監査)

6月30日までの6ヶ月間	連結			GE(a)			金融サービス (GECC)		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%	2014	2013	V%
売上その他の利益									
商品およびサービス売上	\$ 49,948	\$ 46,689	7%	\$ 50,237	\$ 46,926	7%	\$ 61	\$ 57	7%
その他の売上	534	1,719		453	1,622		-	-	
GECC の継続事業による売上	-	-		3,797	3,862		-	-	
GECC のサービス売上	19,929	21,594		-	-		20,701	22,327	
総売上その他の利益	70,411	70,002	1%	54,487	52,410	4%	20,762	22,384	(7)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費									
および一般管理費	55,201	53,110		46,490	44,013		9,451	9,743	
支払い利息およびその他の財務費用	4,759	5,203		765	650		4,232	4,770	
投資契約・保険損失・									
保険および年金給付	1,278	1,350		-	-		1,341	1,417	
貸倒引当金	1,938	2,467		-	-		1,938	2,467	
売上原価および費用合計	63,176	62,130	2%	47,255	44,663	6%	16,962	18,397	(8)%
継続事業による利益									
(税引前)	7,235	7,872	(8)%	7,232	7,747	(7)%	3,800	3,987	(5)%
法人税等引当額(引当金)	(709)	(818)		(727)	(721)		18	(97)	
継続事業による利益	6,526	7,054	(7)%	6,505	7,026	(7)%	3,818	3,890	(2)%
非継続事業による税引利益(損失)	(29)	(244)		(29)	(244)		(24)	(243)	
純利益	6,497	6,810	(5)%	6,476	6,782	(5)%	3,794	3,647	4%
非支配持分の純利益(損失)を除く	(47)	150		(68)	122		21	28	
GE に帰属する純利益									
優先株主配当	\$ 6,544	\$ 6,660	(2)%	\$ 6,544	\$ 6,660	(2)%	\$ 3,773	\$ 3,619	4%
	-	-		-	-		(161)	(135)	
GE 普通株主に帰属する純利益	\$ 6,544	\$ 6,660	(2)%	\$ 6,544	\$ 6,660	(2)%	\$ 3,612	\$ 3,484	4%
GE 普通株主に帰属する利益:									
継続事業による利益	\$ 6,526	\$ 7,054	(7)%	\$ 6,505	\$ 7,026	(7)%	\$ 3,818	\$ 3,890	(2)%
非支配持分の純利益(損失)を除く	(47)	150		(68)	122		21	28	
継続事業による利益のうち									
GE に帰属する利益	6,573	6,904	(5)%	6,573	6,904	(5)%	3,797	3,862	(2)%
GECC 優先株主配当	-	-		-	-		(161)	(135)	
継続事業による利益のうち									
GE 普通株主に帰属する利益	6,573	6,904	(5)%	6,573	6,904	(5)%	3,636	3,727	(2)%
非継続事業による税引利益(損失)	(29)	(244)		(29)	(244)		(24)	(243)	
GE 普通株主に帰属する純利益	\$ 6,544	\$ 6,660	(2)%	\$ 6,544	\$ 6,660	(2)%	\$ 3,612	\$ 3,484	4%
継続事業による1株当たり利益									
希釈化後	\$ 0.65	\$ 0.66	(2)%						
希釈化前	\$ 0.65	\$ 0.67	(3)%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$ 0.65	\$ 0.64	2%						
希釈化前	\$ 0.65	\$ 0.65	- %						
期中平均株式数									
希釈化後	10,120	10,374	(2)%						
希釈化前	10,041	10,310	(3)%						
1株当たり配当額	\$ 0.44	\$ 0.38	16%						
GE 普通株主に帰属する利益:									
継続事業による利益	\$ 6,573	\$ 6,904	(5)%						
調整(税引後):									
営業外の年金コスト/(収入)	686	853							
営業利益(非 GAAP 財務指標)	\$ 7,259	\$ 7,757	(6)%						

希釈化後 1 株当たり営業利益	\$	0.72	\$	0.75	(4)%
-----------------	----	------	----	------	------

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1 株当たりの単位はドル。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2013 に掲載されている 2013 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約
(未監査)

(単位: 100 万ドル)	6 月 30 日までの 3 ヶ月間			6 月 30 日までの 6 ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
売上(a)						
パワー&ウォーター	\$ 6,292	\$ 5,715	10%	\$ 11,801	\$ 10,540	12%
オイル&ガス	4,761	3,955	20%	9,069	7,354	23%
エナジーマネジメント	1,856	1,981	(6)%	3,528	3,729	(5)%
アビエーション	6,090	5,303	15%	11,868	10,377	14%
ヘルスケア	4,483	4,490	- %	8,681	8,779	(1)%
トランスポート	1,306	1,597	(18)%	2,533	3,019	(16)%
アプライアンス&ライティング	2,120	2,127	- %	3,977	4,044	(2)%
全産業分野事業セグメントの売上	26,908	25,168	7%	51,457	47,842	8%
GE キャピタル	10,247	10,916	(6)%	20,762	22,384	(7)%
全セグメントの売上	37,155	36,084	3%	72,219	70,226	3%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(922)	(1,025)	10%	(1,808)	(224)	U
継続事業による連結売上	\$ 36,233	\$ 35,059	3%	\$ 70,411	\$ 70,002	1%
セグメント別利益(a)						
パワー&ウォーター	\$ 1,133	\$ 1,087	4%	\$ 2,021	\$ 1,806	12%
オイル&ガス	665	532	25%	1,111	857	30%
エナジーマネジメント	69	31	F	74	46	61%
アビエーション	1,197	1,067	12%	2,312	2,003	15%
ヘルスケア	730	726	1%	1,300	1,321	(2)%
トランスポート	270	313	(14)%	472	580	(19)%
アプライアンス&ライティング	102	83	23%	155	162	(4)%
全産業分野事業セグメントの利益	4,166	3,839	9%	7,445	6,775	10%
GE キャピタル	1,703	1,789	(5)%	3,636	3,727	(2)%
全セグメントの利益	5,869	5,628	4%	11,081	10,502	6%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(1,474)	(1,748)	16%	(3,016)	(2,227)	(35)%
GE 金利およびその他の金融手数料	(400)	(326)	(23)%	(765)	(650)	(18)%
GE 法人税引当金	(409)	(297)	(38)%	(727)	(721)	(1)%
継続事業による利益のうち						
GE に帰属する利益	3,586	3,257	10%	6,573	6,904	(5)%
非継続事業による税引利益 (損失)	(41)	(124)	67%	(29)	(244)	88%
GE に帰属する連結純利益	\$ 3,545	\$ 3,133	13%	\$ 6,544	\$ 6,660	(2)%

(a) セグメント別利益は、セグメントに関連する売上とその他の収入の両方を含む。セグメント別利益の評価対象から除外される項目は、非継続事業、連結子会社の非支配持分および会計処理変更による影響である。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、パワー&ウォーター、オイル&ガス、エナジーマネジメント、アビエーション、ヘルスケア、トランスポート、アプライアンス&ライティングであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは金融事業 (GE キャピタル) で、これは純利益とも言えるものである。シェアードサービス、従業員福利厚生、情報技術などの特定のコーポレートコストは、利用状況に応じて各セグメントに振り分けられている。残りのコーポレートコストの一部は、各セグメントの正味経費に比例して振り分けられている。2014 年第 2 四半期から、GECC の優先株配当の効果を含む GE キャピタルセグメントの業績を報告する。この配当に伴うコストは、GE の業務セグメントサマリー (Company's Summary of Operating Segments) 表の GE コーポレート項目と消去 (Corporate Items and Eliminations) の行で報告済みである。GECC 優先株主配当による影響を含む GE キャピタルセグメントの業績は、経営陣による財務サービス事業の現在の測定方法と整合している。過去の情報は現在の GE キャピタル測定方法に準じて再度分類している。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約(未監査)
追加情報

(単位: 100 万ドル)	6 月 30 日までの 3 ヶ月間			6 月 30 日までの 6 ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
GE キャピタル						
売上	\$ 10,247	\$ 10,916	(6)%	\$ 20,762	\$ 22,384	(7)%
セグメント利益	\$ 1,703	\$ 1,789	(5)%	\$ 3,636	\$ 3,727	(2)%
売上						
Commercial Lending and Leasing (CLL)	\$ 3,611	\$ 3,907	(8)%	\$ 7,193	\$ 7,414	(3)%
コンシューマー	3,598	3,650	(1)%	7,200	7,475	(4)%
リアル・エステート	664	872	(24)%	1,295	2,529	(49)%
エナジー・フィナンシャル・サービス	307	303	1%	776	646	20%
GE Capital Aviation Services (GECAS)	1,345	1,282	5%	2,690	2,661	1%
セグメント利益						
CLL	\$ 541	\$ 825	(34)%	\$ 1,105	\$ 1,223	(10)%
コンシューマー	472	830	(43)%	1,258	1,364	(8)%
リアル・エステート	289	435	(34)%	528	1,125	(53)%
エナジー・フィナンシャル・サービス	76	60	27%	229	143	60%
GECAS	343	304	13%	695	652	7%

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表
(未監査)

(単位: 10 億ドル)	連結		GE(a)		金融サービス (GECC)	
	6/30/2014	12/31/2013	6/30/2014	12/31/2013	6/30/2014	12/31/2013
資産						
現金および有価証券	\$ 133.3	\$ 132.5	\$ 10.5	\$ 14.0	\$ 122.8	\$ 118.5
受取手形および売掛金	21.4	21.4	11.3	11.0	-	-
棚卸資産	19.7	17.3	19.6	17.3	0.1	0.1
GECC の金融債権 - 純額	231.1	241.9	-	-	241.7	253.0
固定資産 - 純額	67.9	68.8	17.6	17.6	50.7	51.6
GECC に対する投資	-	-	80.8	77.7	-	-
営業権・無形固定資産	93.8	92.0	66.5	64.6	27.3	27.3
その他の資産	79.9	80.0	25.1	23.7	62.2	63.9
売却対象事業の資産	3.3	0.1	-	-	3.3	0.1
非継続事業の資産	1.5	2.3	-	-	1.5	2.3
純資産	\$ 651.9	\$ 656.3	\$ 231.4	\$ 225.9	\$ 509.6	\$ 516.8
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 378.7	\$ 383.0	\$ 16.6	\$ 13.4	\$ 363.0	\$ 371.1
投資契約・保険損失・						
保険および年金給付	27.4	26.5	-	-	27.9	27.0
その他の負債	104.3	106.1	79.9	81.0	31.2	31.8
売却対象事業の負債	0.3	-	-	-	0.3	-
非継続事業の負債	1.1	3.9	0.1	0.1	1.0	3.8
株主資本	134.0	130.6	134.0	130.6	85.8	82.7
非支配持分	6.1	6.2	0.8	0.8	0.4	0.4
負債および資本合計	\$ 651.9	\$ 656.3	\$ 231.4	\$ 225.9	\$ 509.6	\$ 516.8

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2013 に掲載されている 2013 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
GAAP データを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC 基準では「非 GAAP 財務指標」として扱われます。こうした非 GAAP 財務指標は、本リリースで発表した GAAP 指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、営業利益、1 株当たり営業利益 (EPS)、産業分野事業セグメントの内部売上成長率、産業分野の活動による現金/現金同等物、およびキャッシュフロー (インダストリアル CFOA) の影響を除いた GE キャピタルの最終正味投資額 (ENI) です。これらのデータは後に最も比較に適した GAAP 基準と照合されます。

営業利益および 1 株当たり営業利益

(単位: 100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)	6 月 30 日までの 3 ヶ月間			6 月 30 日までの 6 ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
継続事業からの利益	\$ 3,586	\$ 3,257	10%	\$ 6,573	\$ 6,904	(5)%
調整 (税引後): 営業外の年金コスト/(収入)	344	430		686	853	
営業利益	\$ 3,930	\$ 3,687	7%	\$ 7,259	\$ 7,757	(6)%
1 株当たり営業利益 - 希釈後(a)						
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 0.35	\$ 0.31	13%	\$ 0.65	\$ 0.66	(2)%
調整 (税引後): 営業外の年金コスト/(収入)	0.03	0.04		0.07	0.08	
1 株当たり営業利益	\$ 0.39	\$ 0.36	8%	\$ 0.72	\$ 0.75	(4)%

(a) 1 株当たり営業利益は項目ごと計算されています。その為、1 株当たり営業利益の数値を足し合わせると合計数値が異なる場合があります。

営業利益は、当社の主要な年金プランにおける非サービス関連の年金コスト (利息コスト、プラン資産の期待リターンおよび数理的損益の償却から成るコスト) を除外します。主要な年金プランのサービスコストおよび、以前サービスコストに含まれていた項目は営業利益に含まれます。これらの年金コスト項目は、当社従業員への年金給付における継続的サービス関連コストをより正確に反映しているため、経営陣ならびに投資家の皆様が当社の業績を判断する際に、営業利益を指標として提供することが有用であると考えます。GAAP 基準の年金コストにおけるその他項目は主に資本割り当て判断と市場のパフォーマンスに依存するため、これらの項目は当社の営業活動による業績とは別に管理しています。GAAP 基準および営業年金コストのいずれも、必ずしも当社の年金プランに関する現在または将来の資金需要の参考値となるものではありません。また、営業利益による財務指標を、対応する GAAP 財務指標と併せて参照することで、経営陣ならびに投資家の皆様が当社業績を他社業績と比較するのに有用な追加情報となると考えています。

産業分野事業セグメントの内部売上成長率

(単位: 100 万ドル)	6 月 30 日までの 3 ヶ月間			6 月 30 日までの 6 ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
セグメント売上:						
パワー&ウォーター	\$ 6,292	\$ 5,715		\$ 11,801	\$ 10,540	
オイル&ガス	4,761	3,955		9,069	7,354	
エナジー・マネジメント	1,856	1,981		3,528	3,729	
アピエーション	6,090	5,303		11,868	10,377	
ヘルスケア	4,483	4,490		8,681	8,779	
トランスポート	1,306	1,597		2,533	3,019	
アプライアンス&ライティング	2,120	2,127		3,977	4,044	
産業分野売上	26,908	25,168	7%	51,457	47,842	8%
以下の影響を除く:						
買収、事業売却 (投資目的で取得した事業の売却を除く)						
および為替レート	1,035	532		1,474	850	
買収、事業売却						
(投資目的で取得した事業の売却を除く)						
および為替レートの影響を除く産業分野事業の売上						
(産業分野事業セグメントの本業による内部売上)	\$ 25,873	\$ 24,636	5%	\$ 49,983	\$ 46,992	6%

内部売上成長率とは、買収、事業譲渡 (投資目的で取得した事業の売却を除く) および為替レートによる影響を除いた売上を測定するものです。前述の影響により、事業活動が大きな変動にさらされ、本来のトレンドが見えにくくなる可能性があるため、それらを除外したデータを提供することによって経営陣ならびに投資家の皆様が、確立され継続中の事業の業績やトレンドについて、より完全な形で理解して頂けると考えています。また、産業分野事業の本業による内部売上成長の情報を別途記載することにより、経営陣および投資家の皆様が当社の産業分野事業の事業トレンドを理解するのに有用な情報となり、他の非金融業の事業や企業とより直接的に比較することができると考えています。当社経営陣は、「内部売上成長率」という用語が他の企業および異なる状況においては、解釈が異なる可能性があることを認識しています。このデータは、異なる会社間の成長率 (絶対数ベース) の比較にも効果を発揮する可能性があるものの、こうした評価基準はそれぞれの事業または企業におけるトレンドを評価するのに有用だと考えており、一定期間ごとの業績トレンドの比較に役立つ可能性のあるツールであると考えています。

現金および現金同等物を除く GE キャピタルの最終正味投資額 (ENI)

(単位: 10 億ドル)	2014 年 6 月 30 日	2014 年 3 月 31 日	2013 年 6 月 30 日
GECC 純資産	\$ 509.6	\$ 510.4	\$ 521.1
非継続事業の資産を除く	1.5	1.4	2.8
無利子負債を除く	60.5	60.0	58.5
GE キャピタル ENI	447.6	449.0	459.8
現金および現金同等物を除く	76.3	75.3	69.5
現金および現金同等物を除く GE キャピタル ENI	\$ 371.3	\$ 373.7	\$ 390.3
2014 年 6 月 30 日との差		\$ (2.4)	\$ (19.0)
2014 年 6 月 30 日との差 (割合)		(1)%	(5)%

ENI を使用して GE キャピタルセグメントの規模を測定しています。この測定方法では、通常の業務において資本支出が不要な、既存の無利子負債を調整することができるため、事業に必要な資本 (債務または資本) の有効な指標になると考えています。また、将来的に発生する負債満期に備えて債券を発行することにより多額の現金が発生しますが、追加の資本調達のためには使用しないため、現金および現金同等物を除外することで、GE キャピタルセグメントのための資本が必要な資産を効果的に測定できると考えています。この測定方法によって、すでにお伝えしている金融サービスセグメントの縮小規模目標との比較が容易になることから、投資家の皆様にとって有用であると考えます。

インダストリアル CFOA

(単位: 100 万ドル)	6 月 30 日までの 6 ヶ月間				
		2014		2013	V%
GE の営業活動 (継続事業) で得たキャッシュ	\$	3,371	\$	3,697	(9)%
GECC からの配当を除く		1,416		1,947	
GE の営業活動 (継続事業) で得たキャッシュから、 GECC からの配当を除く (インダストリアル CFOA)	\$	1,955	\$	1,750	12%

インダストリアル CFOA は GE が営業活動 (継続事業) で得たキャッシュから GECC からの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GE から GECC へ販売された GE 顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などの GECC のサービス、ビルや機器 (自動車を含む) の GECC から GE へのリース、GE から GECC への情報技術 (IT) などのサービスの販売、GECC がリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されている GE が製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECC からの配当を除いた、GE の営業活動によるキャッシュフローの比較は投資家の皆様にとって有用な分析になると考えています。GECC からの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに期毎に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には適さない可能性もありますが、GECC から得ている配当の額についての追加情報を得ることで、比較が可能になります。このデータは金融サービス (GECC) のキャッシュフロー報告書に記載されています。インダストリアル CFOA は、産業事業分野のキャッシュ創出能力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP 基準による CFOA 値を補足するデータを示しています。